

コレクション展IV「暮らしと美術～日常のひとこま～」開催のお知らせ



大分県立美術館では、11月16日（木）より2023年度 コレクション展IV「暮らしと美術～日常のひとこま～」を開催します。

つきましては以下に展覧会概要、関連イベントをお知らせします。なお、**初日には「びびコレクション展オープニングレクチャー」として担当学芸員による解説ツアーを行いますので、是非ご取材ください。**

日時：2023年11月16日（木）14:00～15:00 担当学芸員 梶原 麻奈未

暮らしに関わる作品は、古くから現代に至るまで数多く作られてきました。その中には、日々の暮らしに潜む美をとらえた絵画から生活空間を飾る屏風、四季折々の衣・食・住を彩る工芸品など様々な形式があります。

本展では、同時期開催の「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」にあわせて、日常の暮らしの様子を題材とする作品を展示します。

日本画家・高山辰雄は、入浴や食事の場面など、日々の何気ない暮らしを題材として作品を制作しました。日本画家・上村松園の大正期を代表する屏風には、華やかな着物の女性たちがあでやかに写し取られています。工芸品の分野では、重要無形文化財に指定された小鹿田焼の素朴な形と落ち着いた色合いが魅力的です。いずれも毎日の生活を潤し、心を寄せて楽しむことができる作品です。

新年には、新しい年にちなんだ美術品もあわせて展示します。どうぞお楽しみください。

開催概要

展覧会名 コレクション展IV「暮らしと美術～日常のひとこま～」

会 期：2023年11月16日（木）～2024年1月28日（日）

前期：11月16日（木）～12月19日（火）後期：12月21日（木）～2024年1月28日（日）

休展日：2023年12月20日（水）は展示替えのため休展

時 間：10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会 場：大分県立美術館 3階 コレクション展示室

観覧料：一般300（250）円 大学生・高校生200（150）円

・（ ）内は有料入場20名以上の団体料金

・中学生以下は無料

・大分県芸術文化友の会 ひびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金

・高校生は土曜日に観覧する場合は無料

・県内の小学・中学・高校生（これらに準ずる者を含む）とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料

・身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者（1名）は無料

・学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

・開催中の企画展半券提示で1枚につき1回無料

主催：公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

コレクション展 IV 「暮らしと美術～日常のひとこま～」 チラシ(pdf)



高山辰雄《浴室》1946年



首藤雨郊《港町風景》1937年



上村松園《月蝕の宵》1916年（片岡辰市コレクション）



高山辰雄《食べる》1946年



佐藤哲《クインとジュエル》2012年



平櫛田中《無矣無矣》1907年



《小鹿田焼 飴釉流掛け文蓋付壺》

制作年不詳

関連イベント

びびコレクション展オープニングレクチャー

開催日：2023年11月16日(木) 14:00～15:00

展覧会開幕日に大分県芸術文化友の会 びび会員の方を対象に担当学芸員によるギャラリートークを行います。

※予約不要

※KOTOBUKI・TAKASAGOは要会員証、UME・MEJIROは要観覧券

学芸員によるギャラリートーク

開催日：2023年11月26日（日）、12月3日（日）、17日（日）、2024年1月14日（日）、28日（日）

各日14:00～15:00

※予約不要・要観覧券

※ギャラリートークの予定は変更になる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

コレクション展IV「暮らしと美術～日常のひとこま～」

お問合せ：公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分県立美術館

学芸企画課（展覧会担当）梶原

管理課広報担当 渡邊・山口

Tel 097-533-4500 E-mail:info@opam.jp